

2024年11月5日

各位

上場会社名 日本製罐株式会社
代表者 代表取締役社長 西尾 文隆
(コード：5905、東証スタンダード)
問合せ先責任者 執行役員経理部長 田中 修二
(TEL. 048-665-1257)

2025年3月期第2四半期（中間期）業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2024年4月30日に公表いたしました2025年3月期第2四半期（中間期）の業績予想値と本日公表の実績値との差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績の差異

(1) 2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績の差異（2024年4月1日～2024年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり中間 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,219	24	57	17	12.52
今回発表実績 (B)	5,968	△111	△71	△64	△48.05
増減額 (B - A)	△251	△135	△128	△81	
増減率 (%)	△4.0	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	5,994	194	227	145	107.22

(2) 2025年3月期第2四半期（中間期）個別業績予想と実績の差異（2024年4月1日～2024年9月30日）

	売上高	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,567	35	18	13.25
今回発表実績 (B)	3,127	△78	△53	△40.09
増減額 (B - A)	△440	△113	△71	
増減率 (%)	△12.3	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	3,496	122	110	81.04

2. 差異の理由

(1) 連結業績

当第2四半期（中間期）の業績につきましては、売上高において子会社は予想通りとなりましたが、当社の主力製品である18L缶について想定を下回り、美術缶については新規生産設備の稼働が当初の予定から大幅に遅れていることにより売上高が予算比△4.0%となっております。

また、製造コストについては当社、子会社とも当初の想定を上回っていること、美術缶の新規生産設備の稼働が当初の予定から大幅に遅れていることにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益がともに当初の予想を下回りました。

(2) 個別業績

上記、連結業績に記載の通り、売上高、経常利益、中間純利益ともに当初の予想を下回りました。

以上の通り美術缶の新規生産設備が当初予定していたスケジュールから大幅な遅れが見込まれることとなっており、通期決算への影響等につきましては現在精査中であり、詳細が明らかになり次第改めてお知らせいたします。

以上